



広重版画より 三島 朝霧

第2366回例会

2023.10.1晴

司会

小塚英樹君

会長挨拶

会長 平出利之君

10月になっても30℃越えの暑さの中、家族親睦例会に参加頂きましてありがとうございます。本日は、川名さんが場所を提供して頂きありがとうございます。また、栗原委員長をはじめとする親睦活動委員会の皆様が準備をして頂きまして、ありがとうございます。今日は皆さん全員で盛り上がりまして楽しましょ

出席報告

	出席総数	出席率	メ ッ ク ラ ブ	修 出 席 正 率
前々回	40/51	78.43%	42/51	82.35%
今回	32/50	64.00%	会員総数	54名

欠席者 秋元君、芦川君、岩崎君、栗原(康)君、酒井君、清水君、杉崎君、諏訪部(照)君、千葉君、原君、藤江君、前田(房)君、増田君、三田君、森藤君、矢野君、横溝君、和田君





ROTARY NEWS

会長メッセージ

ゴードンR.マッキナリー (2023-24年度RI会長)

10月10日は世界保健機関(WHO)が定めた世界メンタルヘルスデーです。すでに行動を起こしているロータリー会員の素晴らしい前例をいくつかご紹介します。

フィリピンでは、基本的な健康診断と健康的な生活についてのコーチングを推進するために、Tiaong-Hiyasロータリークラブが地域社会の女性向けに12週間の健康チャレンジを開催しました。チャレンジ終了時、参加者たちの中には特別な絆が築かれていて、llaw ng Tahanan(「家庭を明るくする人」)のロータリー地域社会共同隊を結成することを決めていました。その目的は、より多くの母親を健康教育とウェルネスサポートに関与させること、さらには青少年サービス、十代の妊娠予防、健康を害する薬物の使用者を支援することです。発足からほぼ1年後の今、女性たちが仲間同士でサポートしあえる独自の保健センターを開設する準備をしています。

もう一つの好例がコロラド州のクラブです。2021年秋、Highlands Ranchロータリークラブの会員が、小児メンタルヘルスに重点を置いたクラブ(Rotary Club of Colorado Endowed Fellowship for Pediatric Mental Health)を設立しました。この新クラブのおかげで、コロラド小児病院は児童・思春期専門の精神科医の募集と研修の能力が強化され、その病院グループは人員の募集枠を増やすことができます。これにより、より多くの子どもたちがメンタルヘルスカケアを受けられるようになり、医療従事者の不足が減少します。設立以来新しい支援者を集めてきた同クラブは、今では恒久基金50万ドルという十分な資金を得ています。この基金による投資収入は、小児病院のフェロー(心理学者または精神科医)の支援に充てられます。2024年春からは1年か2年ごとに新しいフェローが指名されることとなります。ゆくゆくは、この基金により育成された専門家たちがメンタルヘルスカケアを支える一大勢力となり、コロラド州の全64郡と、さらには近隣の州の子どもたちにメンタルヘルスカケアを提供していくことでしょう。

私は10月10日にFacebookライブイベントを主催します。ここでは世界メンタルヘルスデーを記念して、メンタルヘルスへの着手の仕方を模索します。それに先だって、どのロータリー会員も変化をもたらせる方法の一つここでお伝えしましょう。

今このときも、所属するクラブやこれまで参加したプロジェクト、ロータリー親睦活動グループ、またはロータリー行動グループなどに、皆さんのちょっとした助力を必要としている人がいます。人びとを結びつける人間関係の発見は、私たちがロータリーでの活動で日常的に行っていることです。それはロータリーが常に目指してきたことであり、お互いに助けあって幸せな人生を築くことで、さらに発展させていけるのです。ただ「お元気ですか」と声をかけるのではなく、「本当に元気なのかどうか」を尋ねる方法を学ぶ必要があります。そうすることで、ロータリーは今後も引き続き世界に希望を生み出すことができるのです。